

2017年11月9日

第19回図書館総合展フォーラム

「利用者から学ぶ超高齢社会の図書館

ー平成28年度国立国会図書館調査研究よりー」

# 調査の概要

国立国会図書館関西館図書館協力課調査情報係

阿部 健太郎

# 図書館及び図書館情報学に関する調査研究

全国の公共図書館の取組の検討に資する

- 平成28年度

「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

背景：高齢化の急速な進展に伴い、公共図書館のサービスと地域の高齢者との関係に新しい動向

外部機関との連携による、高齢者を主な対象とするサービス

地域の高齢者との協働によるサービス

高齢者との関係において先進的あるいは特徴的な図書館サービスを提供している公共図書館の事例を調査

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

- ・調査期間： 2016年9月から2017年3月まで
- ・外部に委託
- ・受託者が研究会を組織して調査

小川敬之氏(九州保健福祉大学保健科学部教授)

呑海沙織氏(研究主幹。筑波大学図書館情報メディア系教授)

溝上智恵子氏(筑波大学図書館情報メディア研究科長)

(五十音順)

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

## ・目的

背景： ポジティブ・エイジングの視点の欠落、認知症への目配りの欠如

高齢者をサード・エイジ、フォース・エイジの枠組みで捉え直す

→超高齢社会における図書館の課題、あり方を考察

サード・エイジ： 生涯学習の観点から

フォース・エイジ： 認知症を取り上げる

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

- ・調査手法

  - ケーススタディ(事例調査)

  - インタビュー調査

- ・その他

  - 高齢者サービスに関する先行研究の整理

  - 超高齢社会、認知症、高齢者サービスに関する文献調査

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

## 1. ケーススタディ(事例調査)

対象機関のサービスについて、文献調査や現地調査を実施

対象: 3機関

日向市大王谷コミュニティセンター図書室(宮崎県)

川崎市立宮前図書館

横浜市都筑図書館

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

## 2. インタビュー調査

目的: 高齢者の図書館サービスへのニーズを明らかにするため

対象: 川崎市立宮前図書館と横浜市都筑図書館がサービス対象とする地域の高齢者(図書館の非利用者も含む)20名

# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

## ・調査結果

### 1. ケーススタディ(事例調査)

各機関が提供するサービスの概要やサービスを実施するに至った経緯などが明らかに

### 2. インタビュー調査

高齢者の図書館利用の現状と今後のサービスのあり方について明らかに



# 平成28年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究 「高齢化社会における図書館サービスに関する調査研究」

## ・成果の公表

報告書を刊行

図書館調査研究レポート No.16

『超高齢社会と図書館～生きがいづくりから認知症支援まで～』

国内外の主要図書館等に配布、当館ホームページで公開

<http://current.ndl.go.jp/report/no16>